



## 2025年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月9日

上場会社名 テックファームホールディングス株式会社 上場取引所 東  
コード番号 3625 URL <https://www.techfirm-hd.com/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 永守 秀章  
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 松本 圭太 TEL 03-5365-7885  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：無  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年6月期第3四半期の連結業績（2024年7月1日～2025年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期第3四半期	4,954	34.4	645	295.9	658	270.5	400	405.3
2024年6月期第3四半期	3,686	△20.1	162	9.5	177	10.1	79	—

(注) 包括利益 2025年6月期第3四半期 382百万円 (475.6%) 2024年6月期第3四半期 66百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2025年6月期第3四半期	円 銭 56.52	円 銭 —
2024年6月期第3四半期	円 銭 11.19	円 銭 —

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2025年6月期第3四半期	百万円 4,633	百万円 2,615	% 56.5
2024年6月期	百万円 4,065	百万円 2,275	% 56.0

(参考) 自己資本 2025年6月期第3四半期 2,615百万円 2024年6月期 2,275百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年6月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 5.00	円 銭 5.00
2025年6月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
2025年6月期（予想）	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 5.00	円 銭 5.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年6月期の連結業績予想（2024年7月1日～2025年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,500	28.1	700	192.6	700	168.2	420	169.4	59.27

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 ー社 (社名)、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年6月期3Q	7,515,000株	2024年6月期	7,515,000株
② 期末自己株式数	2025年6月期3Q	428,913株	2024年6月期	428,913株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年6月期3Q	7,086,087株	2024年6月期3Q	7,086,087株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	6
(セグメント情報等の注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、日経平均株価が依然として高水準で推移し、昨年に続く春闘における賃上げの動きや旺盛なインバウンド需要を背景に消費の底堅さが見られました。一方、ウクライナ侵攻の長期化や中東地域の地政学リスク、トランプ大統領再選に伴う国際情勢の不確実性など、外部環境の変動が企業収益や国内消費に与える影響が懸念されております。

当社グループが属する情報サービス業界におきましては、様々な業種で老朽化した基幹システムの維持コストや不具合が増える「2025年の壁」に備えた刷新需要や、生成AI技術を活用した新たな事業創出などIT投資の拡大が見込まれております。

当社グループは「最先端テクノロジーと創造力で、産業の変革をリードします。」をミッションとして掲げ、先端技術を基盤とした高付加価値ソリューションや業界特化型プラットフォームのサービス提案設計から開発、運用保守まで、ワンストップの支援体制を整え、顧客企業におけるDX推進の共創パートナーとして事業成長に取り組んでおります。また、創業以来、独立系のソフトウェア会社として様々な業種で蓄積したICTの知見とノウハウを活用し、デジタル化の取り組みによって事業の発展がより見込める産業にイノベーションを起こすことでITを通じた社会貢献に努め、グループの事業基盤、収益力の強化を目指しております。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は4,954,300千円（前年同四半期比34.4%増）、営業利益は645,169千円（前年同四半期比295.9%増）、経常利益は658,664千円（前年同四半期比270.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は400,510千円（前年同四半期比405.3%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

#### (ICTソリューション事業)

ICTソリューション事業においては、複数の新規大型開発案件の受注及び開発が順調に進み、売上高は第3四半期連結累計期間として過去最高を更新しました。プロジェクトの品質管理やモニタリング体制の構築により安定した進捗を維持したことに加え、社内エンジニアの稼働率向上により売上総利益率が想定を上回り、セグメント利益も過去最高水準に迫る結果となりました。

また、注力分野である先端技術では、最新の生成AIコードエディタ「Windsurf」を活用した高度なプログラミング支援により、ベンダーチェンジに伴うシステムの引き継ぎ、リプレイス案件の対応範囲を大幅に拡大するだけでなく、生産性・品質の向上を実現することが可能となりました。近年、老朽化したシステムを刷新する引き合いは増加傾向にあるため、これらの技術を活用し、顧客企業の新たな価値の創出に努めてまいります。

上記により、当第3四半期連結累計期間のICTソリューション事業の売上高は4,605,105千円（前年同四半期比33.1%増）、セグメント利益は1,060,982千円（前年同四半期比82.8%増）となりました。

#### (クロスボーダー流通プラットフォーム事業)

クロスボーダー流通プラットフォーム事業においては、最新のITと流通技術を組み合わせ、アジアと日本をつなぐ越境流通プラットフォームを展開し、利用顧客数の増加と流通量拡大による安定した収益の確保と成長を目指しております。高付加価値の日本商品に対する需要が高いシンガポール市場を拠点に、輸出に向けた市場調査から販路開拓、マーケティングを支援し、顧客企業のビジネス「創出」から「定着」まで一貫したサポートに取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間は、シンガポール最大の繁華街オーチャードロードにオープンした直営店舗及びECサイト上において、地方自治体・経済団体や金融機関と連携したイベントの複数開催でリアル・EC両面での順調な集客に成功し、to C向け販売マーケティングの実績を上げました。今後は、EC及びデジタルマーケティングの強化を進め、東南アジア進出を希望する日本企業や自治体の顧客のさらなる獲得を目指します。そして、シンガポール以外の海外市場の展開も視野に事業のスケールアップを図ってまいります。

また、2024年の農産品・食品の輸出額が初めて1.5兆円を超えるなど、日本食が海外消費者の日常生活にも広く浸透する中、直営店舗を商品体験や商談の場として活用し、リアル・EC・デジタルを融合させた顧客接点の拡充とデータ収集を進めております。収集したデータをもとに、アジア市場に適した商材の検証・提案を行い、商流拡大を支援してまいります。

上記により、当第3四半期連結累計期間のクロスボーダー流通プラットフォーム事業の売上高は349,194千円（前年同四半期比54.4%増）、セグメント損失は32,184千円（前年同四半期はセグメント損失45,744千円）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ533,221千円増加し、4,153,904千円となりました。この主な要因は、受取手形、売掛金及び契約資産が584,535千円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ35,931千円増加し、475,165千円となりました。この主な要因は、投資その他の資産が26,059千円増加したことによるものであります。

繰延資産は、前連結会計年度末に比べ830千円減少し、4,616千円となりました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ568,321千円増加し、4,633,687千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ231,402千円増加し、1,489,708千円となりました。この主な要因は、未払法人税等が184,795千円増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ3,218千円減少し、528,077千円となりました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ228,183千円増加し、2,017,786千円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ340,137千円増加し、2,615,900千円となりました。この主な要因は、配当金の支払があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が365,080千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年6月期の通期連結業績予想につきましては、2025年2月7日に公表いたしました通期の連結業績予想を変更しております。詳細につきましては本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,338,579	2,274,677
受取手形、売掛金及び契約資産	773,217	1,357,752
有価証券	400,509	402,045
その他	205,620	216,729
貸倒引当金	△97,243	△97,299
流動資産合計	3,620,683	4,153,904
固定資産		
有形固定資産	31,156	42,972
無形固定資産	7,294	5,350
投資その他の資産		
その他	401,464	427,524
貸倒引当金	△682	△682
投資その他の資産合計	400,782	426,842
固定資産合計	439,234	475,165
繰延資産	5,447	4,616
資産合計	4,065,365	4,633,687
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	144,440	182,269
短期借入金	600,000	600,000
未払法人税等	47,499	232,294
賞与引当金	122,047	57,498
製品保証引当金	31,000	38,100
受注損失引当金	14,900	—
その他	298,419	379,546
流動負債合計	1,258,306	1,489,708
固定負債		
社債	500,000	500,000
長期借入金	837	—
資産除去債務	20,510	20,010
その他	9,949	8,067
固定負債合計	531,296	528,077
負債合計	1,789,603	2,017,786
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	1,499,462	1,492,197
利益剰余金	208,659	573,739
自己株式	△434,362	△434,362
株主資本合計	2,273,759	2,631,574
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,708	4,673
為替換算調整勘定	△9,704	△20,347
その他の包括利益累計額合計	2,003	△15,674
純資産合計	2,275,762	2,615,900
負債純資産合計	4,065,365	4,633,687

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
売上高	3,686,391	4,954,300
売上原価	2,580,982	3,267,038
売上総利益	1,105,408	1,687,262
販売費及び一般管理費	942,427	1,042,092
営業利益	162,980	645,169
営業外収益		
受取利息	743	1,904
助成金収入	81	297
為替差益	18,500	16,297
その他	1,834	5,731
営業外収益合計	21,159	24,230
営業外費用		
支払利息	3,486	6,773
支払手数料	1,939	2,691
社債発行費償却	761	830
その他	154	439
営業外費用合計	6,341	10,735
経常利益	177,798	658,664
特別利益		
関係会社清算益	—	3,357
特別利益合計	—	3,357
特別損失		
固定資産除却損	92	272
減損損失	6,045	6,933
棚卸資産除却損	—	3,192
特別損失合計	6,138	10,398
税金等調整前四半期純利益	171,660	651,623
法人税等	92,400	251,112
四半期純利益	79,260	400,510
親会社株主に帰属する四半期純利益	79,260	400,510

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
四半期純利益	79,260	400,510
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,475	△7,035
為替換算調整勘定	△1,278	△10,642
その他の包括利益合計	△12,754	△17,678
四半期包括利益	66,505	382,832
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	66,505	382,832
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ICTソリューション	クロスボーダー 流通プラットフォーム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,460,237	226,154	3,686,391	—	3,686,391
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,460,237	226,154	3,686,391	—	3,686,391
セグメント利益又は損失 (△)	580,297	△45,744	534,553	△371,572	162,980

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△371,572千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用の主なものは、当社(持株会社)に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「クロスボーダー流通プラットフォーム」事業において、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては6,045千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2024年7月1日 至 2025年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ICTソリューション	クロスボーダー 流通プラットフォーム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,605,105	349,194	4,954,300	—	4,954,300
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,605,105	349,194	4,954,300	—	4,954,300
セグメント利益又は損失 (△)	1,060,982	△32,184	1,028,798	△383,628	645,169

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△383,628千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用の主なものは、当社（持株会社）に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る減価償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	7,393 千円	9,801 千円